南知多道路始め４路線における新たな施設の整備及び改築

●武豊北IC（仮称）の新設

◆半田IC～武豊IC間の距離が知多半島道路、南知多道路の中で最長（5.8km）

◆半田IC，武豊ICの混雑を緩和

●りんくうIC出口の追加

◆大規模店舗等の出店により、りんくうICで発生が予想される渋滞を解消するため、りんくうIC出口の追加

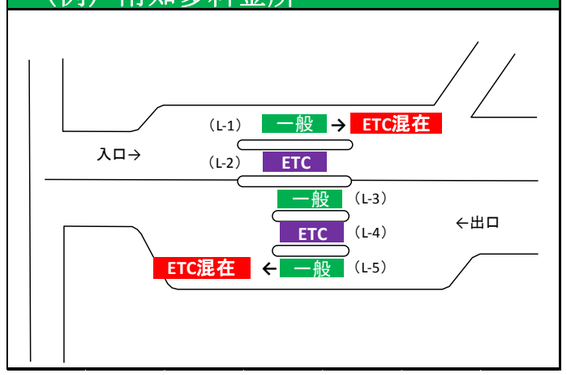
●一般レーンの「ETC/一般」混在レーン化

◆ ETC利用率が高まったことによる利用者の安全性、利便性の向上

◆ 一般レーンの入口、出口それぞれ1レーンを「ETC/一般」混在レーンに変更

➢ 対象料金所　６箇所

（例）南知多料金所



●パーキングエリアの新設

◆ 既存パーキングエリアは4箇所

◆ パーキングエリア間が離れており、新設パーキングエリアを計画

◆ 知多半島道路下り線に大府パーキングエリア、上り線に阿久比パーキングエリアを設置

●道路設備等の機能向上

◆ 道路利用者の安全確保のために道路情報板の機能向上、可変式規制標識の高輝度化、ITVカメラの操作性向上

➢ 道路情報板　76基
➢ 可変式規制標識　40基
➢ ITVカメラ　34台

●橋梁の大規模修繕

◆ 知多半島道路、南知多道路の橋梁は、床版防水設置基準策定以前の昭和40年代に施工されており、鉄筋コンクリート床版に防水は施されていない

◆ 床版の耐久性を向上させ、橋梁の長寿命化を図るために、床版防水を実施

➢ 知多半島道路　46橋
➢ 南知多道路　34橋